

1. 学習項目

三角形 / 三角形のかき方

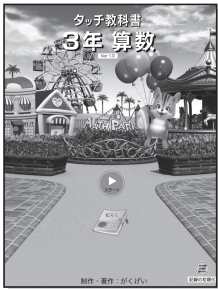
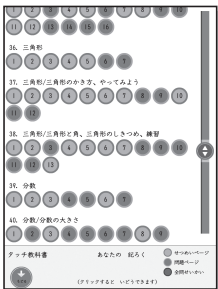
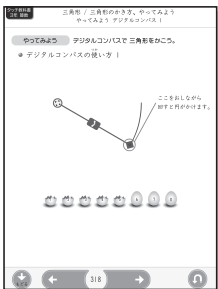
2. 本時の目標

- 二等辺三角形と正三角形の作図の仕方を思い出し、デジタルコンパスを使って作図することができる。

3. 本時の展開

「タッチ教科書」をこの学習で使うポイント

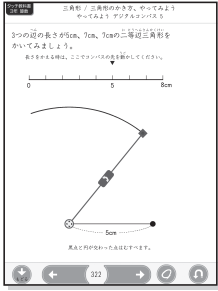
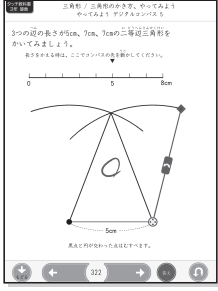
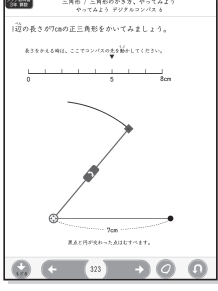
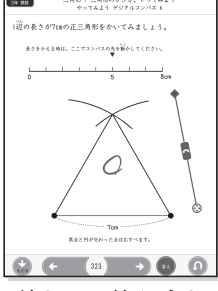
- タブレットを使って学習することにより、興味をもって学習に取り組むことができる。
- 直感的で分かりやすい「デジタルコンパス」で、コンパスを使う意味をより深く理解することができる。
- 失敗しても、やり直すことがボタン一つでできるので、失敗を恐れずに試行錯誤できる。

	画面例	教師の働きかけ	児童の活動
つかむ	この学習は、二等辺三角形と正三角形の定義と、コンパスを使った作図を学習した児童が、タブレット上で動かせる「デジタルコンパス」を使ってそれらの理解を深めていくことを目標にしています。  スタート画面  記ろく	「前の算数の時間で、どんな三角形の学習をしましたか？」 「そうですね。その時に、コンパスや折り紙で、それらの三角形を作りましたね。今日はタブレットを使って、それらの三角形のかき方の学習をします。」 「それでは、タッチ教科書の【記ろく】をタップして、37の7をタップしましょう。」	「二等辺三角形と正三角形です。」 「タブレットを使うのは楽しみだな。」
見通しをもつ	 P.318 たまご5をタップしたところ	「まず、デジタルコンパスの使い方を学習します。下のたまごを1から8まで順にタップして、説明を見ましょう。」 「その通りです。円をかく前の最初の傾きを変えたい時は、真ん中の黄色い矢印のところを動かします。」	「実際のコンパスの“針”がデジタルコンパスでは“黄色い丸”で、“鉛筆”が“青い四角に赤い点”だね。」 「デジタルコンパスで円をかいてみたいです。」

memo

見通しをもつ

考える

	画面例	教師の働きかけ	児童の活動
考える	 P.322 1つ目の円をかいたところ	「3つの辺の長さが5cm, 7cm, 7cm, の二等辺三角形をかきましょう。かけたら下の 答え合わせボタン をタップしましょう。」	「5cmの辺は下に最初からかいてあるね。」 「あとは、7cmの辺を2本かくわけだから、まず、コンパスの長さを7cmに合わせて…。」
	 かき終わって答え合わせをしたところ	「円は全部かかなくてもいいですよ。」	「円は交わるあたりの部分だけかけばいいんだったね。」 「困ったな。画面の端にコンパスの先が行った時には、それ以上動かせないよ。」
	 P.323 1つ目の円をかいたところ	「では、次の323ページに進みます。」 「1辺の長さが7cmの正三角形をかきましょう。かけたら、下の 答え合わせボタン をタップしましょう。」	「7cmの辺が1本、最初からかいてあるね。」 「あとは、7cmの辺を2本描くわけだから、まず、コンパスの長さを7cmに合わせて…。中心を動かして…。」 「1つ円をかいたあとは、コンパスの傾きを変えて、もう1つの中心まで動かして…。」
	 かき終わって答え合わせをしたところ	「1辺の長さが7cmの正三角形がかけましたか?」 「正しくかけましたね。」	「かけたよ!」 「きれいな正三角形。」 「やった! 正解!」
まとめる		「今日はどんなことを学習しましたか?」 「タブレットを使って学習したので、二等辺三角形や正三角形のかき方と、コンパスを使う意味がよくわかりましたね。」 「これからも算数の学習をがんばりましょう。」	「デジタルコンパスを使って、二等辺三角形や正三角形をかきました。」 「実際のコンパスの時も、1辺を定規でかいた後に、コンパスを辺の長さと同じにして、円をかいて、交わったところを結ぶとかけました。デジタルコンパスも同じでした。」